

福島県地域創生・人口減少対策有識者会議
プレゼンテーション資料 1

平成 27 年 5 月 29 日
委員 日下 智子

福島県新地町での活動事例

1. 新地町概要（2015 年 5 月 1 日現在）

- 人口：8,008 人
 - ・平成 4 年から平成 12 年までは人口は 9,000 人を超えていたが、平成 13 年度以降は減少の一途を辿っている。
- 世帯数：2,723 世帯
- 町長：加藤 憲郎

2. NPO 法人みらいと

(1) 概要

- 設立：2012 年 8 月 1 日
- 代表者：目黒 博樹
- 社員数：18 人
- 主な活動：新地駅前プロジェクト（JR 常磐線復旧）、ジョブナビ、復興支援員受入、やるしかねえべ祭り（復興夏祭り）、巡回パトロール、高齢者住宅見回り、各種イベント等

(2) 復興支援員に関して

- 地域イノベーター留学
 - ・活動は地域で、ブレーンは東京に。
 - ・地域に留学し、「地域を知り、地域のファンになり、地域の課題を共有する。そして、地域の事を一緒に考えて課題解決の方法を探る。」
 - ・2泊3日のフィールドワークを2回
 - ・東京に戻ってワークショップを3回
 - ・Skype や東京でのミーティングを重ね、課題解決案の最終発表を行う。
 - ・新地町には今回4名が留学した。
- ふくしま復興応援隊
 - ・新地町では、地域イノベーター留学生2人が復興応援隊となり活躍している。
 - ・昨年はUターンで新地町の復興応援隊となった方も。
- 新地町復興応援隊（福島県復興支援員）
 - ・新地町の復興のために、被災地視察などの受入、町内外に向けた新地の魅力や取組の発信、自治体や団体が行う行事や地域活動の手伝い等を実施。

(3) ジョブ・ナビ、ジョブ・カフェ

- 対象者：IターンやUターンを考えている20代～40代、地元の中高生
- 地元で活躍する皆さんにインタビューを実施し、仕事内容やプライベートを紹介している。(尊敬している人は？学生時代の夢は？仕事後はどのように過ごしている？新地町のいいところは？等)
- 地元企業の紹介、求人情報の発信も行っている。
- JR新地駅(平成29年度復旧予定)の駅前でジョブカフェを開設検討中。

(4) しんち駅前プロジェクト

- 新地町と協働でワークショップを開催。
- 新地駅前プロジェクトに関してのかわら版を発行。

(5) 被災地アテンドや地元の方の取組

- 「ふくしま復興かけはしツアー」(新地町⇄浪江町)
- 「きっかけバス47」
- 明治大学と東京YWCA(キリスト教女子青年会)との連携イベント。
- かけはしツアーやイノベーター留学をきっかけとした、新地を応援したい方による「新地を紹介する写真展」や「新地の特産品を使ったカフェ」を開催。
- 仮設住宅の中に「子どもたちによる一日限りの手づくりの町」をつくりあげる「マイタウンマーケット」を実施。
- 新地町のキレイな海と浜を取り戻すために、地元サーファーを中心とした清掃活動を2012年から毎月実施。
- 「田んぼアート」を新地町でチャレンジする「しんち田んぼアートプロジェクト」を立ち上げ、町の子どもや新地出身者、震災復旧復興で新地町に関わりのある方たちに、農業体験を通じて地域の人々と交流できる機会を設けている。
- 震災の復旧・復興をきっかけに、地域のファンになり継続したつながりを持ってもらう。

(6) 結び

- 新地町に企業の工場が次々と建てられる計画が進んでいる。
- 新たな企業立地が次々と決まっているが、課題は雇用面である。
- 駅前(平成29年3月常磐線再開に向けて)や沿岸部の環境も整え、「やっぱり新地がいいね」と思われる町を目指す。